

認知症看護認定看護師

認知症の主な症状として、記憶障害、実行機能障害(物事の段取りを計画的に決められない)、見当識障害(日付、時間、場所がわからない)がみられます。そのため、入院したことを忘れてしまう、治療についても分からず、何をされているのかわからないことで恐怖や不安を抱えてしまう場合があります。認知症患者さんが何に困っているかを確認し、どうしたら安心して過ごせるかを各病棟スタッフと一緒に考え認知症患者さんへの援助を実践します

【現在の活動】

- ・認知症看護講習会
- ・認知症ケアサポートチーム内活動
- ・認知症医療疾患センター内活動
- ・もの忘れ外来での患者家族からの相談対応
- ・認知症患者の日常生活援助ケア
- ・行動心理症状に対しての環境調整
- ・せん妄予防とせん妄の改善
- ・病棟看護師の認知症患者への対応力向上への関わり

メンバー紹介

三浦 洋平

東海大学病院の看護部の理念「愛の看護」を実践し、認知症の患者さんやご家族が安心して入院生活を過ごすことができるように支援します。患者さんの「思い」を確認し、考え、その思いを大切にした看護が提供できるように努めます

草間 貴恵

認知症を持つ患者さんが病院へ入院されると、見知らぬ場所や人に囲まれ、急な環境の変化から、眠れなくなったり、不安を感じたり、混乱してしまったりと、認知症の行動心理症状が強くなってしまふことがあります。認知症の種類や時期に応じた生活環境の調整や、行動心理症状の緩和・予防に向け、患者さんが困っていること、感じていることは何かを考え、患者さん自身の困りごとを解消するためのお手伝いをしていきます。

澤居 千栄美

認知症の患者さんだけでなく、共に生きるご家族も穏やかな生活が送れるよう、入院中のみでなく退院後の暮らしを見据えた援助を考え、「住み慣れた環境で生活する」ことを目指しサポートしていきます